

南館ペンギン水槽に

南極の冬が来る！ エンペラー繁殖シーズンだ！

ペンギンタイムズ



冬すぎて
桜咲くころ
都度おもう
皇帝のひなを
今年こそはと

担当飼育係心の短歌

今年も始まる繁殖シーズン
寒い冬も過ぎ、暖かな春の兆しが名古屋にもやってきた。新入生・新社会人など新たな環境で頑張る人も多い季節。また、花粉症で気持ちが悪くなる季節。そして、名古屋水族館のペンギン飼育係が人一倍強い思いを持つ季節。そう、ペンギン水槽がまもなく冬を迎え、エンペラーペンギン（別名・コウテイペンギン）の繁殖シーズン到来の時期である。名古屋水族館では未だ繁殖に成功していないヒナが誕生すればビッグニュースになること間違いなし！期待の念を送りながら吉報を待ちたい。

おまけ情報<産卵前の沈黙>

オスはメスに魅力をアピールするために鳴くが、野生では繁殖できるオスがメスに比べて少ないためペアになった後も鳴いてしまうとまだペアの決まっていないうちがメスがペアになるかと割り込んでくることある。そのためペアの相手が決まると産卵まで鳴かなくなり、「産卵前の沈黙」と呼ばれている。

過去のブログ
check
エンペラーの
鳴き声について



下の写真はそれぞれお昼頃に撮影したペンギン水槽の様子。水槽内の照明は南極昭和基地周辺の日照データを参考に調整し、人工的に南極周辺の季節を作り出している。ちなみに南極は日本と季節が真逆。南極の冬は1日中太陽が昇らない「極夜」という薄闇の世界。そして南極の夏は太陽が1日中沈まない「白夜」という明るい世界に。季節ごと

冬モード（日本の夏）



夏モード（日本の冬）



エンペラーは地球上最も過酷な子育てをする生き物とされている。飼育係が過去にブログで紹介しているので要チェック！

check



名古屋港水族館の最新情報は、公式HP (<https://nagoyaaqua.jp>) をチェック！